

船舶事故等調査報告書

平成23年12月22日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011広第100号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成23年5月8日 12時30分ごろ	
発生場所	広島県福山市福山港一文字岸壁 福山市所在のJFEスチール福山港新涯 <small>しんがい</small> 導灯（後灯）から真方位024° 1,090m付近 （概位 北緯34° 28.1′ 東経133° 24.6′）	
事故等調査の経過	平成23年6月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 貨物船 第二<small>きゆう</small>貴雄丸、499トン 136578、トネ丸汽船有限会社</p> <p>B ケミカルタンカー 友光<small>ゆうこう</small>丸、499トン 133791、日宣汽船株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	B 船長B、三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	A 右舷船首外板に凹損 B なし	
事故等の経過	B船は、船長Bほか5人が乗り組み、空船で福山港の一文字岸壁に着岸作業中、強風を受けて同岸壁に向けて圧流され、平成23年5月8日12時30分ごろB船の船尾部と同岸壁に船尾着けで係留していたA船の右舷船首部とが衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風速 約7m/s、視界 良好 海象：海上 平穏	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり B船は、福山港の一文字岸壁に着岸作業中、風を受けて圧流されたことから、同岸壁に係留中のA船と衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、B船が、福山港の一文字岸壁に着岸作業中、風を受けて圧流されたため、同岸壁に係留中のA船と衝突したことにより発生したものと考えられる。	